

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です
プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	スプリセル
診療科名	血液腫瘍内科
診療科責任者名	末永 孝生
適応がん種	ALL*1
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	ALL-2
登録日・更新日	2009年7月29日
削除日	
出典	スプリセル添付文書
入力者	安室 修

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	スプリセル	20、50mg	70mg/回 *2	<input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> IVHポート <input type="checkbox"/> 側管 <input checked="" type="checkbox"/> その他(PO)	2回/日	連日

1コースの期間	日
投与間隔の短縮規定	<input type="checkbox"/> 短縮可能(日) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	<p>【血液系】 好中球数/血小板数:注1)好中球数<500/mm³又は血小板数<10,000/mm³ (1)血球減少が白血病に関連しているかを確認(骨髄穿刺又は生検)する。 (2)白血病に関連しない場合は、好中球数1,000/mm³以上及び血小板数20,000/mm³以上に回復するまで休薬する。 (3)1回70mgを1日2回で治療を再開する。 (4)再度発現した場合には、(1)へ戻り、2回目の発現時は1回50mgを1日2回、3回目の発現時は1回40mgを1日2回で治療を再開する。 (5)白血病に関連する場合は、1回90mgを1日2回までの増量を考慮する。</p> <p>注1:原則として、患者の全身状態に十分注意し、少なくとも投与開始(第1日)から第14日までは治療を継続した後の検査値</p> <p>【非血液系】 副作用の重症度:グレード3又は4 (1)グレード1以下又はベースラインに回復するまで休薬する。 (2)1回50mgを1日2回で治療を再開する。 (3)再び同じ副作用(グレード3又は4)が発現した場合には、原則として投与を中止する。</p>
前投薬	
その他の注意事項	<p>血液検査は投与開始前と投与後の2ヵ月間は毎週、その後は1ヵ月毎に、また、患者の状態に応じて適宜行う</p> <p>*1 再発又は難治性のフィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病 *2 1回90mgを1日2回まで増量できる</p>

記入者	安室 修
確認者	山倉 昌之